

第 22 回 (2020 年度) 読売光と愛・郡司ひさゑ奨学生 募集要項

社会福祉法人 読売光と愛の事業団

読売光と愛・郡司ひさゑ奨学基金

基金の趣旨

故・郡司ひさゑ氏から寄託された遺産を主に、社会福祉法人読売光と愛の事業団内に「読売光と愛・郡司ひさゑ奨学基金」を設け、事業団が 1999 年度から運営している。児童養護施設入所者など社会的養護のもとで生活する子どもが、高校卒業後に進学する費用を援助し、社会的自立をバックアップする。ならびに全国の児童養護施設などで暮らす子どもたちを励まし、児童福祉の向上をはかる。



主催：読売光と愛の事業団 後援：読売新聞社 協力：全国児童養護施設協議会

助成の対象

- ・全国の児童養護施設などに在籍する社会的養護の必要な児童で、2020 年春に高校を卒業し、大学、短期大学、専門学校の入學試験合格者。その中でも特に経済的援助を必要とし、向上心旺盛で予定年限での修学が十分可能な者
- ・大学生、短大生、専門学校生で計 10 数人。他機関からの併給も可能ですが、他の団体への申請状況は申請書に全てを記入してください。

助成額・助成方法など

- ・国の支援制度（学生支援機構を通じた支給型奨学金や授業料などの減免）の利用を前提に、学習支援費として年額 30 万円を支給。何らかの事情で国の支援制度を利用しなかったり、できなかつたりした生徒については、従来通り、授業料を主体に年間 60 万円を上限に支給します。この場合、年間 50 万円以上の支給を受ける団体との併給は不可。
- ・奨学生は体験をつづるレポートを提出するなど、児童福祉の向上に協力してもらいます。
- ・奨学金は出身施設を通じて支給し、施設は責任を持って奨学生の指導にあたってもらいます。
- ・申請書に記載した進路を変更する場合は必ず報告してもらいます。

助成の期間

進学した各学校の 1 年次から最短の卒業年次まで。退学・休学・留年の際は助成を打ち切ります。ただし、病気や事故などやむを得ない場合は事情を考慮します。

申請に必要な書類（すべてを郵送してください）

- 1) 本人の申請書（パソコン入力可能、申請書2は一部、本人の自筆で）
進学志望校が複数ある場合は第3志望校までを記入
 - 2) 施設長の申請書（パソコン入力可能）
 - 3) 申請者本人が書いた作文 テーマは「**私の将来**」（950～1000字）
あなたが本奨学金を活用して学びたいこと、あなたの将来の目標、夢をかなえるために進学後の学生生活で大切にしたいことは何ですか。自分の長所や性格、これまでの体験なども交えて、あなたらしい言葉で書いてください。
 - ・ A4サイズ500字詰め（事業団指定の原稿用紙）を使用
 - ・ 本人の自筆に限り、Bか2Bの鉛筆で濃く書く（パソコン不可）
 - ・ 施設側で添削指導はしないでください
 - 4) 成績表（高校3年次の1学期、または高校2年次のもの。コピー可）
 - 5) 入学志望校の案内書
学校・学科名・修学内容・所在地・学費がわかるもの（厚いものは部分コピーで）
すでに推薦などで合格が決まっている人は合格通知書のコピーを添付
 - 6) 入所している施設の紹介パンフレット1部
- * 1), 2)の申請書と3)の原稿用紙は、事業団ホームページからダウンロードできます
(郵送を希望される場合は、事業団にお電話ください)
- * 申請書類中の年号はすべて西暦で記入してください

申請の締め切り **2019年10月11日（金）当日消印有効**

選考の方法

当事業団が委嘱する選考委員会で、作文を中心に審査・選考を行ない、決定します

決定の通知

2019年12月末までに各施設の施設長に選考の結果を通知します。大学、短大、専門学校への入学をもって正式な給付決定とします。

申請書類の提出先・問い合わせ

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
読売光と愛の事業団・郡司奨学生係
電話 03-3217-3473 Fax 03-3217-3474
電子メール hikari-ai@yomiuri.com
ホームページ <https://yomiuri-hikari.or.jp/>